



いのちの森づくりを 行田から世界へ

未来を担う豊かな人間性を持った子どもの育成と自然環境・地球環境の再生に向けて開催している親子植樹祭。この森づくりを行田から世界に発信するため、2月6日、「みらい」文化ホールで「いのちを守る森づくり国際シンポジウム」が開催されました。

この日は森づくりの推進役である横浜国立大学名誉教授の宮脇昭さんらの講演のほか、リチャードポットさん（ドイツ・ハノーバー大学教授）、グリーンジョーン達良俊さん（中国・華東師範大学教授）、今村武蔵さん（行田市森づくり環境再生実行委員長）、工藤市長によるパネルディスカッションや親子植樹祭に参加した児童による作文発表が行われました。

スムーズな連携で重要文化財を保護

1月23日、前谷地区にある光明寺で第57回文化財防火デー消防訓練が行われました。

昭和24年1月26日に法隆寺金堂が炎上し、壁面が焼損したことを契機に文化財保護の思想が広まり、昭和30年に制定された同防火デー。この訓練は、光明寺から出火し、重要文化財が延焼の危険にさらされていることを想定。参加した地元住民をはじめ、浮き城のまち行田・消防ボランティアレディーズ隊員らは、それぞれ協力し合い、スムーズな連携で重要文化財の運び出しや消火活動訓練に臨んでいました。



春を感じる盆梅展

2月4日から6日までの3日間、埼玉公民館で、盆梅展が開催されました。

同公民館ホールには、さきたま盆栽会の会員25人が育てた梅などの盆栽119点が所狭しと並べられました。梅の香りいっぱいの会場に足を運んだ来場者は、ひと足早い春の訪れを感じているようでした。